

いきいきと健康に暮らせるまちグループ



深澤佑菜さん (三郷中) 高嶋穂波さん (穂高西中) 川口萌乃さん (堀金中)

【提言の一例】障がい者への理解を深めてもらうため、学校や地域で障がい者と交流する機会や、障がいについて学び考える機会を作ってはどうか。

【回答要旨】市では、小中学校の授業で車椅子体験や義足体験などの体験学習を取り入れています。また、障がいや障がい者に対する誤解や偏見の除去・軽減、地域の住民と障がい者との交流を目的にイベントを開催しているほか、啓発活動や講演会などを行っています。2020年には東京パラリンピックも開催されることから、障がい者と一緒にできるスポーツの講習会やイベントを行い、障がいや障がい者への理解を深めていきたいと考えています。

安全・安心・快適なまちグループ

【提言の一例】市民に災害発生時の対応を考えてもらうため、事前に十分な周知の上、「防災の日」に市内全域を停電させ、災害への意識を高めてもらうのはどうか。

【回答要旨】中部電力に確認したところ、配線設備は市町村単位で形成されていないことや電気事業者には電気供給義務があるため、訓練を目的とした停電はできないと回答をいただきました。また、日常生活への影響が大きいため実施は困難なため、会社や学校などで停電を想定した訓練をお願いしたいと思います。各家庭においても十分な備蓄をお願いするとともに、地区の防災訓練に参加するなど、防災意識を高めていただきたいと思います。



山田愛海さん (豊科南中) 大久保夏輝さん (穂高西中) 相田翔さん (穂高東中)

学び合い人と文化を育むまちグループ



丸山泰生さん (豊科北中) 菅原和歩さん (明科中) 小林未来さん (穂高西中)

【提言の一例】図書館から遠い地域や学校に移動図書館を派遣することで図書館の利用促進を図ってはどうか。

【回答要旨】旧豊科町・旧三郷村で移動図書館事業が行われていましたが、市発足後、利用率の激減や新図書館整備により、平成20年度末に廃止となりました。市では多くの市民に利用いただけるよう、福祉施設や児童館など市内公共施設への配本サービスの拡充やインターネットから本を予約できる予約サービスなどを行っています。また、子どもから大人まで楽しめる図書館フェスタも開催しています。今後も、多くの市民に利用いただけるよう親しみのある図書館運営を図っていきます。



テーマごとに6つのグループに分かれ、一人ずつ提言を行いました。閉会後には中学生議員に感謝状と記念品が贈られました。

自分たちに何かできることはないか
11月に行われた中学生議会では、未来を担う市内中学生の皆さんが、市の現状や課題を学び、まちづくりへの提言をまとめました。中学生たちが考えた提言の一部を紹介します。



市政を学ぶ中学生議員

TEL 71・2461 FAX 71・2338

図学校教育課教育指導室

提言を取り入れた施策

今回で6回目となる中学生議会。これまでいくつかの提言が施策に反映されています。

具体的には、グリーンベルトや通学路の歩道整備、中学生にも分かりやすい景観学習冊子の作成などの提言が事業化されています。

協働のまちづくりに生かし、市への関心を高める

市では11月10日、中学生議会を市役所議場で開催しました。

当日は、保護者や市民の皆さんが傍聴する中、市内7中学校の2年生18人が宮澤市長や市の幹部職員に提言型の質問をしました。

この取り組みは、市の将来を担う中学生の柔軟で斬新な発想やアイデアを市政に生かすことや、自分たちが暮らす地域への関心を高めてもらうことなどを目的としています。

私が「どまんなか」を提案

開 催にあたり、市政全般を学ぶ学習会を7月から全3回の日程で行いました。中学生は6つのグループに分かれ、市の仕事や市が抱える課題について市の担当者から説明を受け、理解を深めてきました。

学習会を経て、「自分たちに何かできることはないか」という問いのもと、自らの考えをまとめ、発言原稿を作成しました。質問ではなく、学習した成果

と、今後の市政に対する建設的な意見を提案するようにし、発言には「私が」あるいは「市民が」できることも提案に盛り込みました。議会当日の議事録は市ホームページにも掲載する予定です。